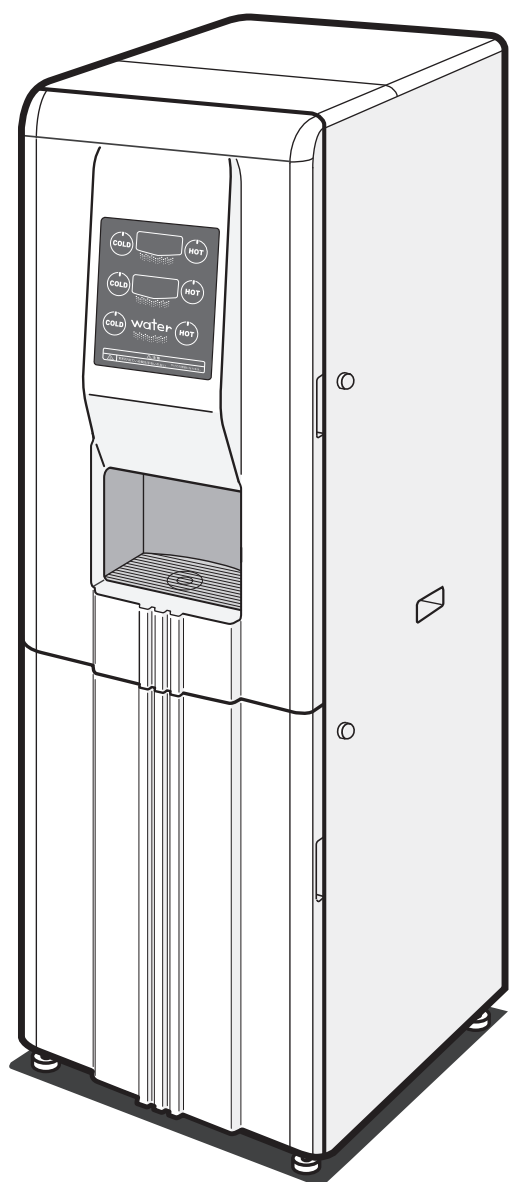


自動お茶いれ機 取扱説明書

形名

HTC-6220L



もくじ

安全上のご注意	1～4
各部のなまえとはたらき	5～7
据付工事	8～14
はじめてご使用になる前に	15
お願い	15
給水のしかた	16
排水のしかた	17
原料の入れかた	18
コントローラーの使いかた	19～20
お手入れ	21～24
別売部品	25
修理サービスを依頼する前に	26～27
仕様	27
保証とアフターサービス	28
長期使用製品の安全に関するお願い	29

- このたびは自動お茶いれ機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- 保証書を販売店から必ずお受けとりのうえ保存してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、据え付け工事をするかた、お使いになるかた、他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

据え付け工事の完了後は、試運転をおこない異常がないことを確認してください。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表 示	表示の意味
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊１）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊２）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊３）の発生が想定されること”を示します。

＊１：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の説明】

図記号	図記号の意味
 禁 止	⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指 示	●は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 注 意	△は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

【本体ラベルの確認】

本体に警告・注意ラベルを貼り付けてありますので、ご確認ください。もし、ラベルが紛失していたり汚損により見にくいときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

【免責事項】

- 地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、改造、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

警告

据付・配管・電気工事は関連する法規や地方条例と、この取扱説明書に従う
工事に不備があると、火災・感電・水漏れの原因になります。



指示

電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



コンセントを単独で使用する

アース（接地）の取り付けをする

電気設備技術基準および内線規定に従った、D種接地工事（接地抵抗100オーム以下）をおこない、アース線を確実に接続してください。また、設置後は接地抵抗が100オーム以下であることを確認してください。

またアース線はガス管・水道管・避雷針・電話線などへの接続はしないでください。

故障・漏電したときに感電する原因になります。



アースの接続

自動お茶いれ機本体の近くの操作のしやすいところに、専用止水栓を設ける

水漏れの際、専用止水栓がないと拡大被害の原因となります。



専用止水栓を設ける

給水配管はステンレス管や合成樹脂内面処理管など、法規や地方条例に適合した材質を使用する

ゴムやビニールのホースを使用すると、水圧により破裂し水漏れの原因になります。



指示

地震などによる転倒防止の処理をする

振動により転倒し、けがの原因になります。



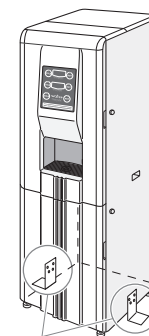
転倒防止

自動お茶いれ機の転倒防止

事故防止と地震などの非常時の安全確保のために、本体の高さ調整脚でグラグラしないように高さを調整し、付属の転倒防止金具を必ず取り付けてください。

取付方法については、8ページをご覧ください。

また、別売の転倒防止用部品については、お買い上げの販売店にご相談ください。



転倒防止金具（付属）

湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない

漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

分解・改造・修理はしない

発火したり、異常動作してけがの原因になります。



分解禁止

漏電遮断器（電源スイッチ）の動作を確認する

故障のまま使用すると漏電のとき感電する原因になります。

漏電遮断器（電源スイッチ）のテストボタンを月に一度押して、動作を確認してください。



動作の確認

異常がある場合は、事故防止のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理を依頼する

異常のまま放置すると感電・火災・水漏れの原因になります。



電源プラグを抜く

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは
使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



傷んだ電源コード、電源プラグ禁止

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 警告

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き乾いた布などでよくふく

ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。



ほこりをとる

部品の取り付け、取りはずし、およびお手入れするときは、電源スイッチを切る
感電やけがの原因になります。



指示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない
ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

原料容器棚に手を触れない

原料の防湿のため高温になっており、やけどをする原因になります。



接触禁止

飲料抽出動作中は、機構部に手を触れない

けがをする原因になります。



接触禁止

冷水タンク内の水は定期的に排水し、リンス動作をしてください
また3日に一度は必ずタンク内の洗浄とリンス動作をしてください
衛生上の問題や故障の原因になります。



衛生注意

⚠ 注意

ガス類や引火物の近くに設置しない（本体の近くにガス類や引火物を置かない）
発火の原因になります。



引火物禁止

配管水路にストレーナーを設ける

自動お茶いれ機本体に異物が侵入し、水漏れや故障の原因になります。



ストレーナーの設置

給水水圧は 0.1～0.75 MPa の間で使用する（P A タイプ）

水圧が高いとき、減圧弁を使用しないと、水漏れや故障の原因になります。



減圧弁を使用

配管接続部は確実に接続する

確実に接続しないと、水漏れの原因になります。



接続確認

排水ホースは直接排水口に導く（直接排水式の場合）

水漏れのとき拡大被害の原因になります。



直接排水

工事作業中は手袋を着用する

金属端面などによるけがを防ぎます。



手袋を着用

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く
感電やショートして発火する原因になります。



電源プラグを抜く

月に一度は電源プラグ部分を点検する

電源プラグとコンセントの接触が悪くなり、異常発熱して発火する原因になります。



電源プラグの点検

本体上に重量物を置かない

扉の開閉で落下し、けがをする原因になります。



上乗せ禁止

本体上に水を入れた容器を置かない

水がこぼれ電気絶縁が劣化し、漏電や感電の原因になります。



上乗せ禁止

水道法の水質基準に適合する水を使用する

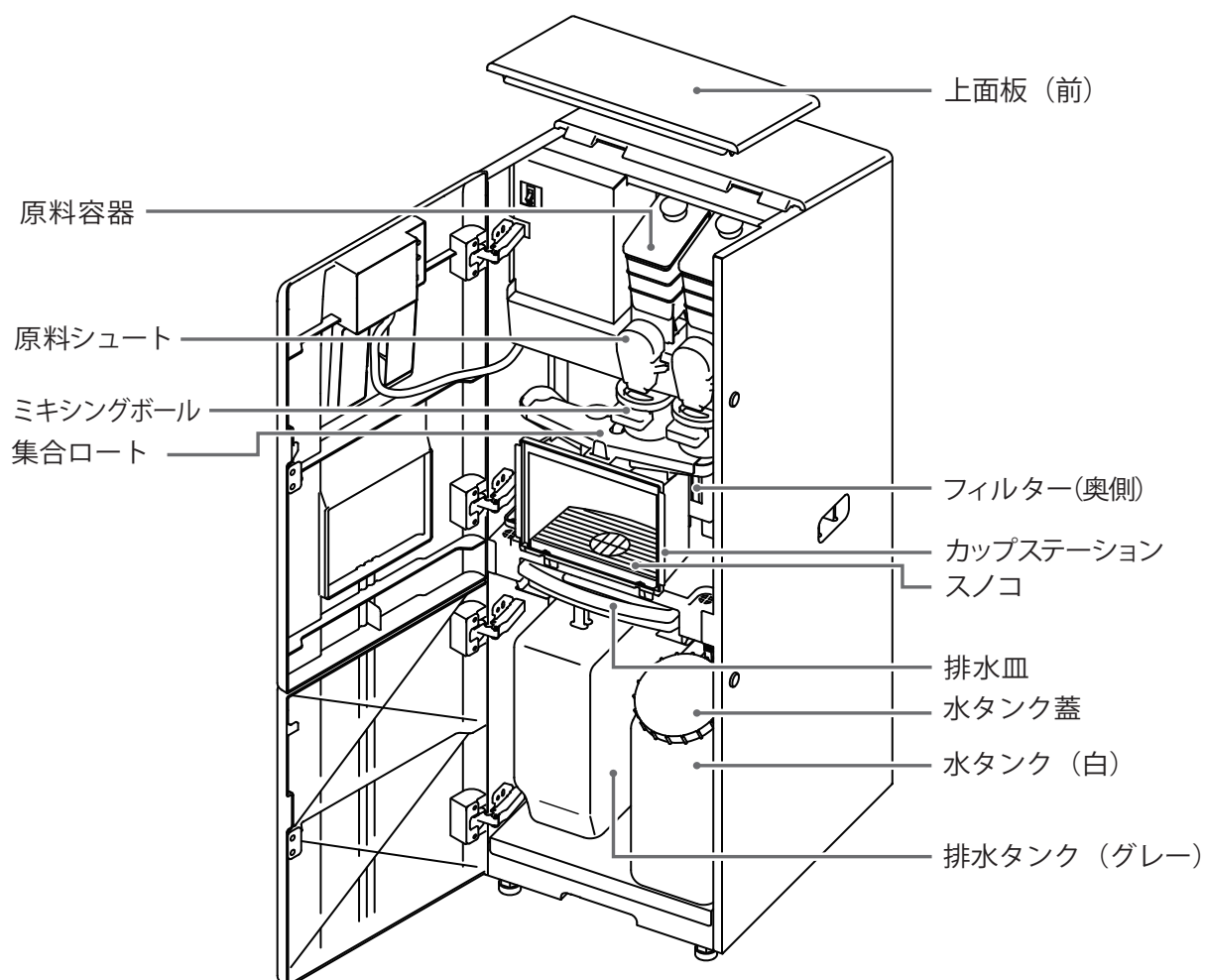
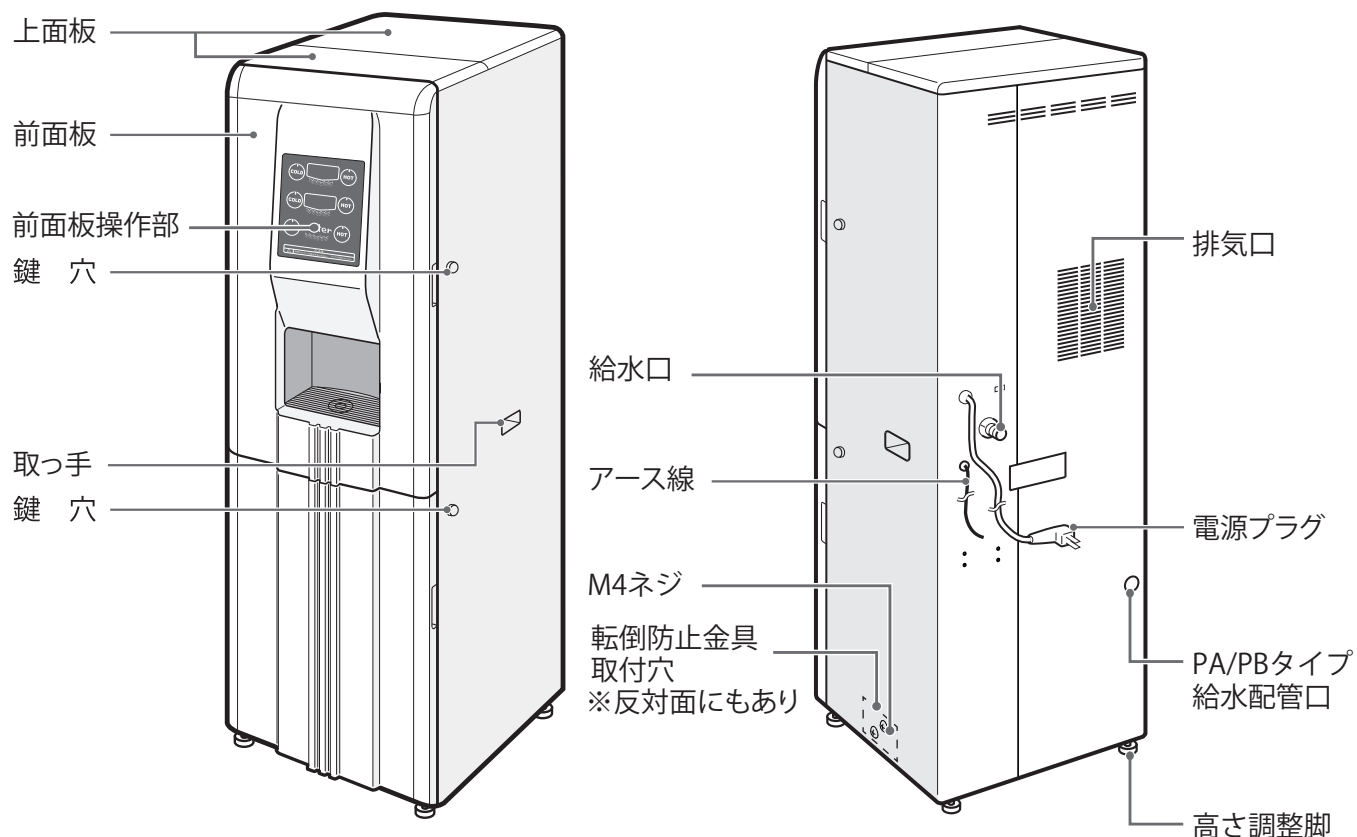
お湯（30℃以上）や適合しない水を給水すると、衛生上の問題や故障の原因になります。



指示

各部のなまえとはたらき

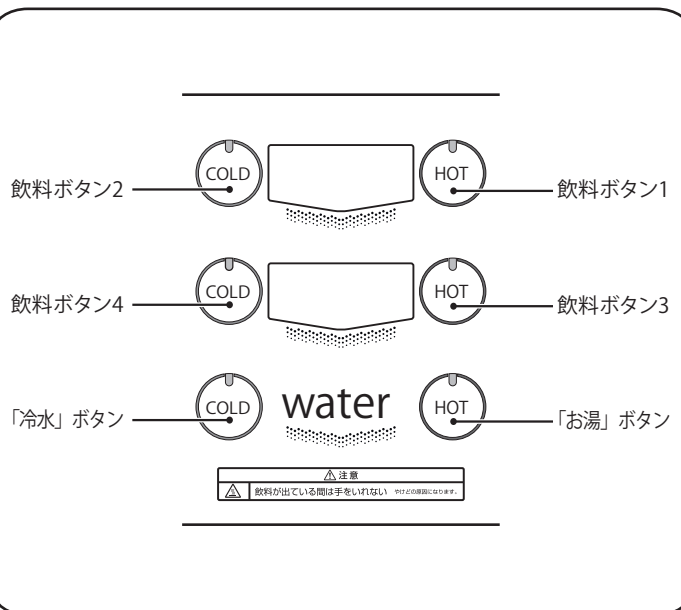
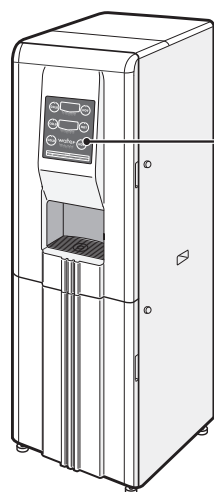
本 体 (図はTタイプ)



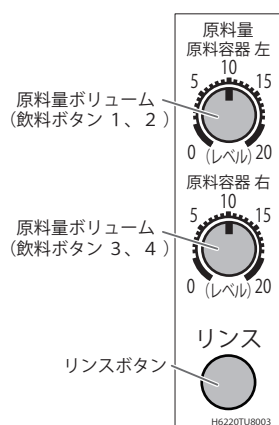
前面板操作部

飲料ボタンとボタンランプ

- ・ ボタンランプが点灯している飲料ボタンを押すと抽出することができます。
抽出中はボタンランプが点滅します。
- ・ ボタンランプが全て点滅しているときは、リンス中を表します。
リンス中は飲料抽出口から湯が出ますので、やけどに注意してください。



コントローラー

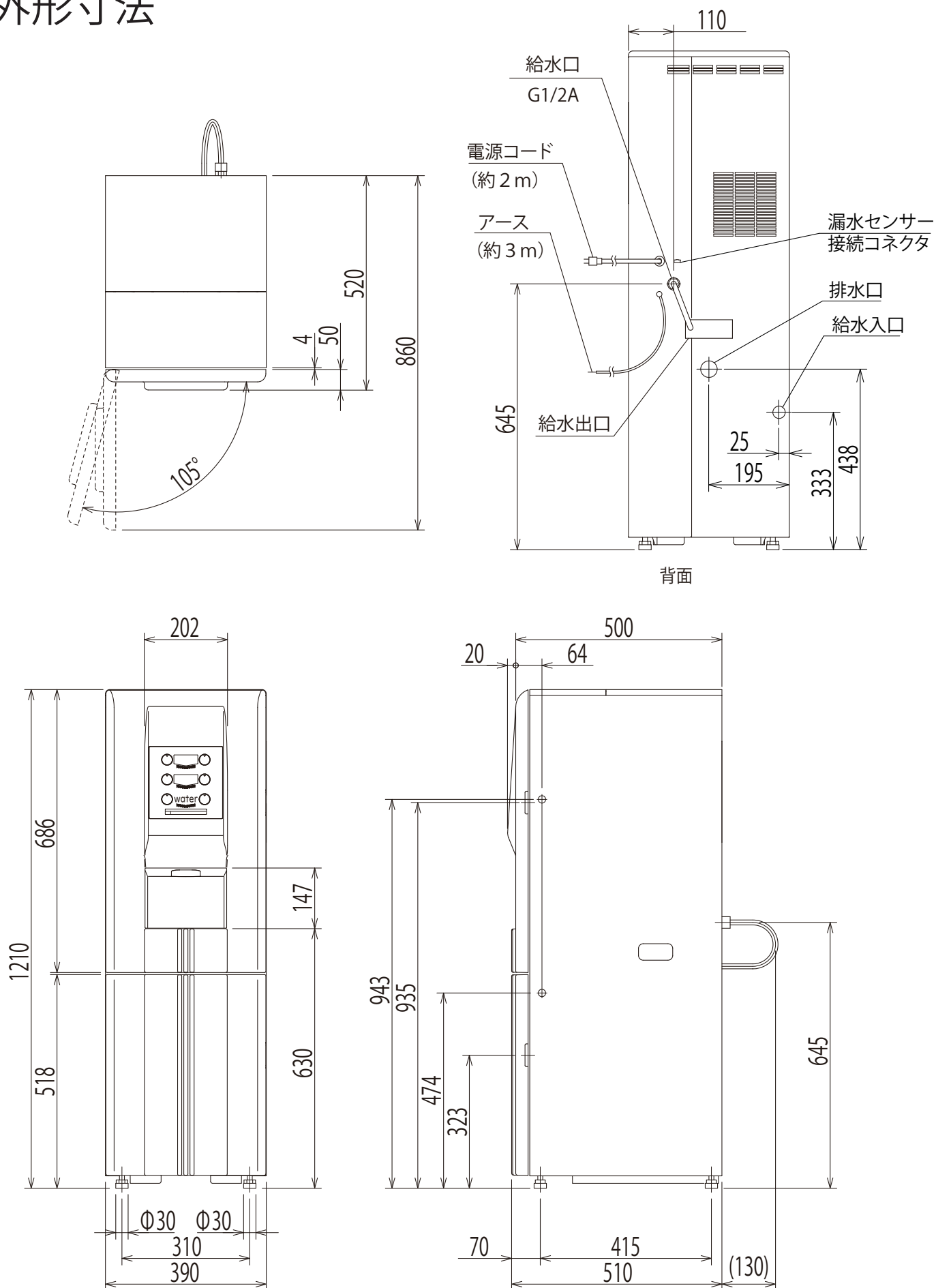


原料量ボリュームの調整で、原料量を設定できます。
(18ページ参照)

リンスボタンを押すと、飲料通過部分（ミキシングボール）を洗い流せます。
(21ページ参照)

各部のなまえとはたらき (つづき)

外形寸法



据付工事

輸送のためのテープや保護パッキン類を取りはずす

内部などの包装材や、固定用の接着テープが付着していないか確認します。

⚠ 注意

開梱後、運搬するときは商品側面の取っ手部を持つ

前面板はプラスチック製です。前面部を持つと変形や割れる原因になります。

商品の上に乗ったり、重量物を置かない。

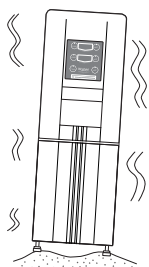
商品が変形する原因になります。



設置環境と据付工事

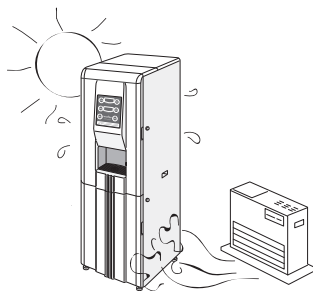
床は丈夫で平坦な場所に据えつける

床が傾いていたり不安定な場所では、転倒したり振動や騒音の原因になります。



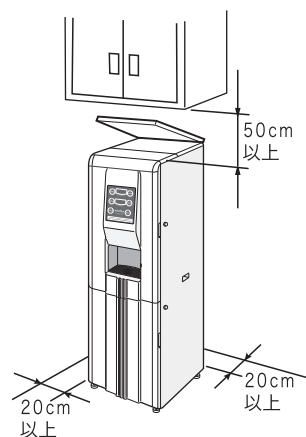
直射日光の当たる場所や、熱器具のそばに据付けない

冷水機の冷却効果が低下したり、過熱し故障の原因になります。



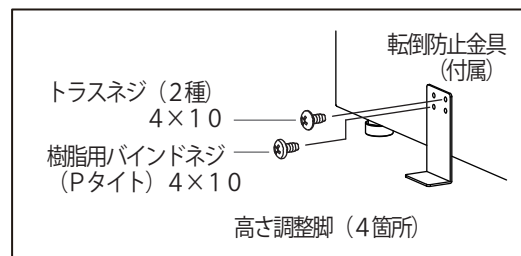
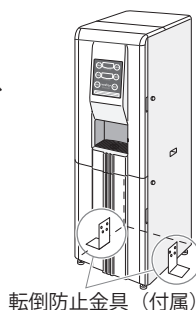
風通しが良く保守や修理サービスの容易なところに据え付ける

必ず両側面と後面は20 cm以上の隙間を開けてください。スペースを開けないと換気効率が悪くなったり、扉を開けたとき物に当たったりします。また、上側は修理サービスのときに、上面板が開けられるように50 cm以上空間を開けてください。



転倒防止処理をする

事故防止と地震などの非常時の安全確保のために、本体の高さ調整脚でグラグラしないように高さを調整し、付属の転倒防止金具を必ず取り付けてください。



⚠ 警告

湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない
漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

地震などによる転倒防止の処置をする
振動により転倒し、けがの原因になります。



転倒防止

給水・排水方式について

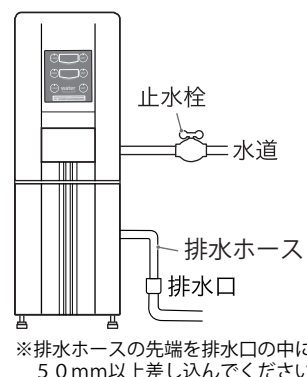
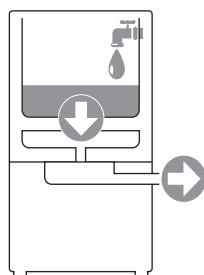
給水・排水の方法により2つのタイプがあります。

PAタイプ (水道直結・直接排水式)

給水は水道直結、排水は排水口への直接排水となります。
内部には除菌浄水器 (水フィルター) が組込まれています。

※給水配管は「標準配管例」を参考に行ってください。
※万一の水漏れのときの拡大被害防止のために、付属の漏水検知装置を取り付けてください。

- ①漏水センサーは3年を目安に交換してください。
- ②漏水を検知したときは新しい漏水センサーと交換してください。

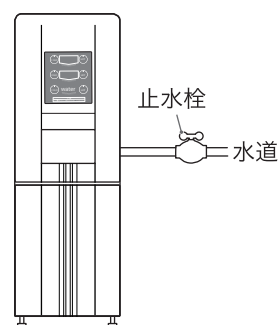
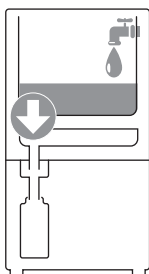


PBタイプ (水道直結・排水タンク付)

給水は水道直結、排水は排水タンク (約10L) への排水となります。
内部には除菌浄水器 (水フィルター) が組込まれています。

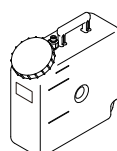
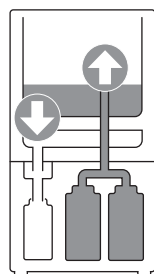
※給水配管は「標準配管例」を参考に行ってください。
※万一の水漏れのときの拡大被害防止のために、付属の漏水検知装置を取り付けてください。

- ①漏水センサーは3年を目安に交換してください。
- ②漏水を検知したときは新しい漏水センサーと交換してください。

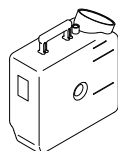


Tタイプ (下部給水・容器排水式)

給水は水タンク (約12L) からポンプによる給水、排水は排水タンク (約10L) への排水となります。
内部には除菌浄水器 (水フィルター) が組込まれています。

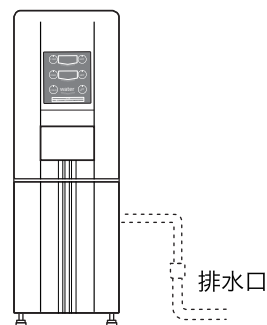


水タンク



排水タンク

※排水を直接排水で使用することもできます。
排水設備のある場合は、直接排水でお使いいただくことをお勧めします。
水漏れの場合に拡大被害を防ぎ、排水を捨てる手間もかかりません。
変更は排水受けの向きを変えて、11ページのPAタイプの排水配管を行ってください。



配管工事

給水配管 <PA/PBタイプでご使用の場合>

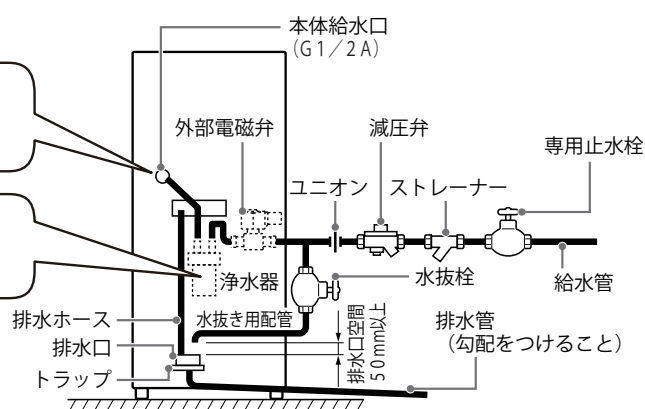
当該水道局の条例に基づき、認定工事業者が施工してください。

標準配管例

ブレードホースを本体背面の給水口に接続してください。
給水後、接続部から水漏れのないことを確認してください。

付属の浄水器カートリッジを必ず取り付けてください。
給水後、接続部から水漏れのないことを確認してください。

※水抜き用配管は逆流防止のため、排水口空間を
50mm以上確保してください。



配管工事は据付地区の気象条件にあわせ、標準配管例に準じて施工します。

また、寒冷地区は凍結防止処理を標準配管例に準じて施工します。

配管は耐食性のあるステンレス管や合成樹脂内面処理管などを水質により選定し、配管材料は切断後、必ずバリを取って使用してください。

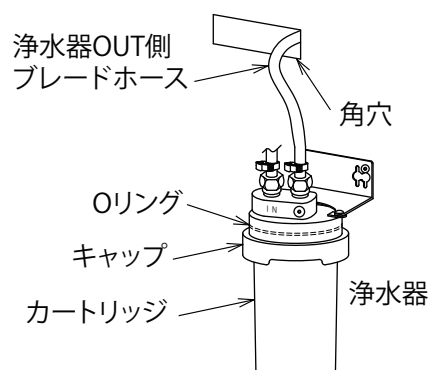
配管材料をティーサーバー本体に接続する前に、必ず捨て水をして配管内のゴミ・シール材などを洗い流してから接続してください。油汚れ、バリやゴミなどが入ると動作不良や異味、異臭の原因になります。

保守や点検のときや、水漏れの対策として給水側に専用止水栓と水抜き栓と減圧弁を設け、減圧弁の出口側にはユニオンを設けてください。

また、専用止水栓の後にストレーナーを設けることにより、給水側からティーサーバー本体への異物進入を防ぎます。

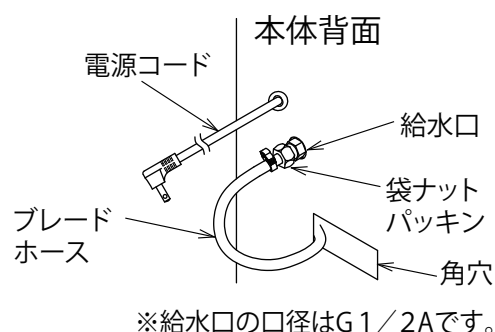
浄水器カートリッジの取り付けと本体背面への給水配管の接続

①浄水器のキャップにカートリッジを取り付けます。



注意
カートリッジをキャップ内部に垂直にゆっくりと上方へ止まるまで差し込んだ後、左右に2～3回ゆっくり回してOリングとキャップをなじませます。最後に右方向へ止まるまでに回します。確実に接続しないと水漏れの原因になります。

②浄水器OUT側ブレードホースは背面の角穴に通します。
ブレードホースの袋ナットに付属のパッキンを入れ、給水口に接続してください。給水後、各接続部から水漏れの無いことを確認してください。



据付工事 (つづき)

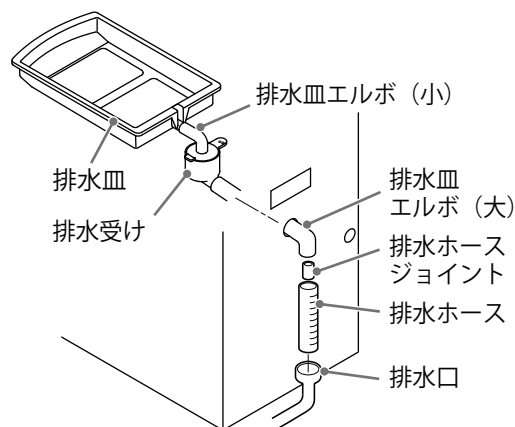
排水配管

使用する排水管は、熱いお湯が流れるので、耐熱性のある管を使用してください。また、防臭・湯気の逆流防止のためにトラップを設けてください。排水ホースを直接、排水口に導き排水ホースの先端を中に50mm以上差し込みます。このときに排水ホースは排水皿の流水が流れやすいように下り勾配にし、先端がつぶれたり、配水管に密着してふさがれていないか確認してください。

(1) P Aタイプを使用する場合〔水道直結・直接排水式〕

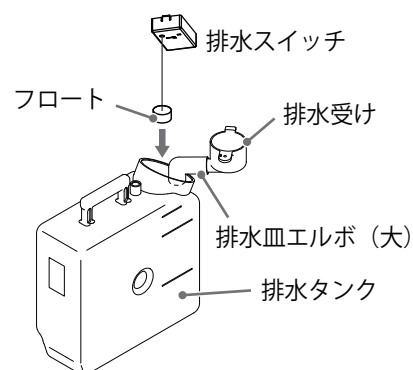
水道直結の場合は、必ず排水口に直接排水する方式としてください。万一の水漏れの場合に安全です。

- ①排水受けに、付属の排水皿エルボ（大）、排水ホースジョイント、排水ホースの順に接続してください。
- ②排水ホースは直接、排水口に導き排水ホースの先端を排水口の中に50mm以上差し込んでください。
この時、ホースの先端がつぶれたり、排水口に密着してふさがれていないか確認してください。



(2) P Bタイプを使用する場合〔水道直結・容器排水式〕

- ①排水容器キットを同梱されている取付説明書に従い取り付け、排水受けの向きを変え、排水皿エルボ（大）をカットします。
- ②排水皿エルボ（大）の排水口が、排水タンクの上に位置していることを確認し、排水スイッチのフロートを排水タンクの中に入れてください。
フロートを正しく入れないと水漏れになります。

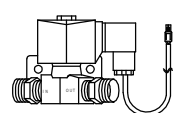


(3) Tタイプを使用する場合〔下部給水・容器排水式〕

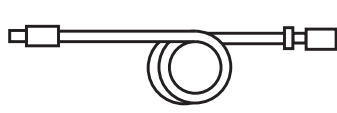
- ①排水皿エルボ（大）の排水口が、排水タンクの上に位置していることを確認し、排水スイッチのフロートを排水タンクの中に入れてください。
フロートを正しく入れないと水漏れになります。

漏水センサーキットの取付 <PA/PBタイプでご使用の場合>

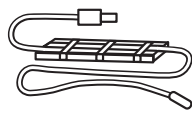
PA/PBタイプは次の部品が標準付属です。



外部電磁弁
(組付け済み)



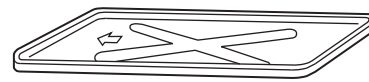
中継ハーネス



漏水センサー



コードキープ
4個



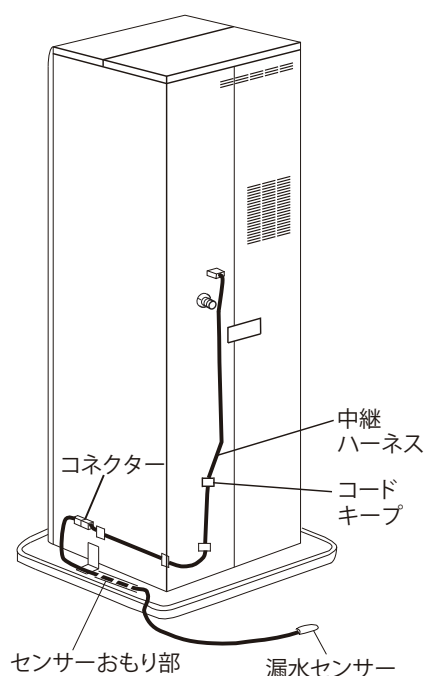
ドレンパン

【漏水センサー取り付け方法】

1. 中継ハーネスを本体背面の漏水センサー用端子に接続してください。
2. ドレンパンを矢印が前になるように設置してください。厚いジュータンの上など柔い床面に設置する場合は、丈夫な板（厚さ5mm以上の合板など）をドレンパンの下に敷き補強してください。
3. ティーサーバー本体を設置してください。
本体がドレンパンの外側にはみださないよう注意してください。
5. 中継ハーネスを右図のように本体の右側面手前付近まで引き出し、付属のコードキープでたるまないよう固定してください。
6. 中継ハーネスのコネクターに漏水センサーを接続してください。
7. 漏水センサーのおもり部をドレンパンの内に入れ、残りを給水部、排水部などの漏水を検知したい箇所の床面に敷設してください。

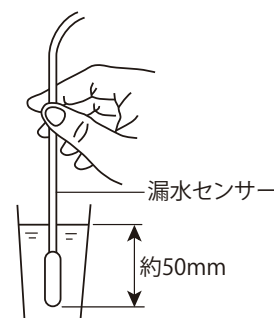
【ご注意】

- ①センサーおもり部は金属板が下側になるように設置してください。
- ②漏水センサーを敷設する場所は人が踏んだり、掃除のとき動いたりする場所はさけてください。
- ③結露する可能性のある配管、壁面やその直下、床面には敷設しないでください。誤作動の原因となります。
- ④敷設する前に床面に油分や水分がないように清掃してください。
- ⑤漏水センサーが床面から浮かないように密着させてください。
- ⑥漏水センサーはよじったり、強く引張ったり、折ったりせず、ていねいに扱ってください。



【取付け後の確認】

- ①水漏れのないことを確認してください。
- ②ティーサーバーの前面扉にある飲料ボタンのランプが点灯していることを確認してください。
- ③漏水センサー先端部約50mmをきれいな水道水につけ、飲料ボタンの全ランプが点滅することを確認してください。
- ④十分乾燥させた後、設置してください。



【漏水検知装置の動作】

漏水が発生し、漏水センサーが検知しますと、次の動作を行います。

- ①外部電磁弁を閉止し、給水を止めます。
- ②ティーサーバーの前面板にある飲料ボタンの全ランプが点滅し、飲料を抽出できなくなります。
- ③下部給水方式をご使用の場合は、給水ポンプを停止させます。

■漏水検知後、新しい漏水センサーに交換するまでの間、ティーサーバーをご使用になるときは、漏水の原因を取り除き、中継ハーネスから漏水センサーを取り外すと使用できます。

【使用上の注意】

- ①ご使用の環境にもよりますが、漏水センサーは3年を目安に新しいものに交換してください。
- ②漏水を検知した漏水センサーは誤作動のおそれがありますので再使用できません。新しい漏水センサーと交換してください。もし続けて使用される場合は、お買い上げ店へご相談ください。ただし、取り付け後の確認で水道水につけたものや、設置のときに誤って新しい漏水センサーにきれいな水道水がかかってしまったものについては、乾燥させて再使用が可能です。
- ③漏水センサーは濡れた手や、雑巾などで触れないでください。誤作動のおそれがあります。
- ④掃除の時などワックスを含んだモップや化学雑巾などで漏水センサーに触れないでください。油分が付着すると水をはじき、漏水時検知しないおそれがあります。

据付工事（つづき）

電気工事

電気設備に関する技術基準および内線規定に基づき、指定工事業者が施工してください。

アース（接地）線の接続

電源を接続する前に、アース（接地）はD種接地工事（接地抵抗100オーム以下）をおこない、確実に接続してください。また、施設後は、接地抵抗が100オーム以下であることを必ず確認してください。

電源の接続

電源は単相交流100Vを使用し、15A以上の専用コンセントを使用してください。

他の器具と併用すると分岐コンセント部が発火し、火災の原因になります。

また、専用コンセントはティーサーバー本体が異常のときに、電源プラグを抜くことができる場所に施工してください。

警告

アース（接地）の取り付けをする

電気設備技術基準および内線規定に従った、D種接地工事（接地抵抗100オーム以下）をおこない、アース線を確実に接続してください。また、設置後は接地抵抗が100オーム以下であることを確認してください。故障・漏電したときに感電する原因になります。



アースの接続

電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



コンセントを単独で使用

チェックポイントと試運転

配管工事、電気工事が終了しましたら、次の順序でチェックし、試運転してください。

据付後のチェックポイント

配管工事後のチェックポイント

- 据え付けた床面の強度は十分ですか？
- ティーサーバー本体は、ぐらつかず安定していますか？
- 配管は据え付けられた地区の基準に従っていますか？
- 専用止水栓は、ついていますか？
- ストレーナー、減圧弁の取付方向と位置は適切ですか？

直接排水の場合

- 排水ホースは、折れ、曲がり、ねじれはありませんか？
- 排水ホースの先端が排水口の中に50mm以上差し込まれていますか？
- 排水ホースの先端がつぶれたり、配水管に密着してふさがっていませんか？

電気工事後のチェックポイント

- アースの接続は確実ですか？
- 接地抵抗を測定し100オーム以下でしたか？
- 電源プラグは、専用コンセント（100V15A以上）に確実に接続してありますか？

試運転

1. 冷却用タンクに給水する

「給水のしかた」（16ページ参照）に従って給水してください。

2. 排水する

「排水のしかた」（17ページ参照）に従って排水してください。

試運転時のチェックポイント

- 給水中、給水完了後にティーサーバー本体および各配管接続部から水漏れはありませんか？
- 排水時の水漏れを確認しましたか？
水漏れがなく排水できることを確認してください。
- 漏電遮断器（電源スイッチ）のテストボタンをおして「切」になることを確認しましたか？
電源スイッチは漏電遮断器をかねています。テストボタンを押し、レバーが「切」になれば正常です。
- P B / Tタイプをご使用の場合、飲料ボタンのランプ表示を確認しましたか？
排水スイッチのフロートを持ち上げると、「飲料ボタン1」のランプが点滅することを確認してください。



はじめてご使用になる前に

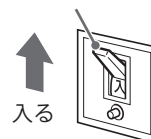
電源の入れかた

前面板を開けて、電源スイッチを兼ねている漏電遮断器のレバーを上にあげると電源が入ります。

電源スイッチは、常時入れたままでご使用ください。

夜間等に電源スイッチを切っておくと、防湿ヒーターが働かず原料が固まり出なくなることがあります。

電源スイッチ



⚠ 注意

≪ Tタイプをご使用の場合 ≫

水タンクに給水してから電源を入れる

水タンクが空の状態、または給水量が少ない状態で電源を入れると、ポンプが故障する原因になります。



指 示

より衛生的にご使用いただくために

工場出荷時にタンクや本体内の配管内部を洗浄していますが、より衛生的にご使用いただくために、次の手順を2～3回繰り返し内部を洗浄してください。

1. 「給水のしかた」（16ページ参照）に従い給水します
2. 前面板操作部の各飲料ボタンを押し、それぞれコップに4～5杯分の水を排水します
3. 「排水のしかた」（17ページ参照）に従い本体内部の水を排水します
4. 再度、給水してからご使用ください

お願い

長時間お使いにならないとき

・2日以上ご使用にならなかったとき

雑菌が繁殖している恐れがあります。湯タンク、冷水タンクの水を排水し、冷水タンクは洗浄した後に新しい水道水と入れ替えてください。（16ページ「給水のしかた」および、17ページ「排水のしかた」をご覧ください。）

また、本体内の残水を捨てるために、飲料ボタンの「HOT」と「COLD」をそれぞれ5～6回押してください。

・1週間以上ご使用にならないとき

原料容器の原料を全て取り出します。水タンクの水を全て排水して（水道直結タイプは止水栓を閉めて）から、本体の『排水』を行ってください。『排水』が終わったら電源スイッチを切って、電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、PB/Tタイプでご使用の場合は排水タンク内の残水も必ず捨ててください。

（17ページ「排水のしかた」をご覧ください。）



湯タンク、冷水タンク、および配管部分は定期的に点検してください

水の中に含まれている成分の量により、水あかや沈殿物が発生し、故障の原因になる場合があります。

点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

お手入れをするとき

クレンザー、シンナー、ベンジン、灯油、アルコール、ベンゾールなどを使用しないでください。

変質・変色・破損の原因となる場合があります。

また、樹脂部品にハンドクリーム等が付着したまま放置すると、変色の原因となる場合がありますので、付着した場合は速やかにふき取ってください。

給水のしかた

湯タンク・冷水タンクへの給水

<PA/PBタイプ（水道直結・直接排水式）の場合>

1 止水栓を開き給水する

水道の止水栓を開き、本体内部や給水配管からの水漏れがないことを確認します。



2 電源を入れる

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを上げ電源を入れます。
湯タンク、冷水タンクに自動的に給水されます。



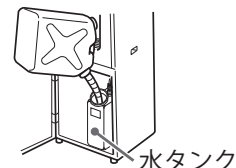
3 断水や一度で満水にならないとき

断水の場合や一度で満水にならないときは、自動的に給水を中断します。
水道の給水確認を行った後、電源を入れなおしてください。
給水を再開します。

<Tタイプ（下部給水・排水タンク付）の場合>

1 水タンクに給水する

ポリタンクなどで、水タンクに満水レベル（10L程度）まで給水します。
お湯（30℃以上）を入れないでください。
故障の原因となります。



2 電源を入れる

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを上げ電源を入れます。
湯タンク、冷水タンクに自動的に給水されます。



3 水タンクが空になったり一度で満水にならないとき

水タンクが空になったり、一度で満水にならないときは、自動的に給水を中断します。
水タンクに水を補給した後、電源を入れなおしてください。
給水を再開します。

⚠ 注意

水タンクに給水してから電源を入れる

水タンクが空の状態、または給水量が少ない状態で電源を入ると、ポンプが故障する原因になります。



指示

排水のしかた

湯タンク、冷水タンクの排水

1 排水モードへ切り替える

リンスボタンを連続で3回押してください。（1回 / 1秒以内）
「お湯」ボタンと「冷水」ボタンのみ、LEDが点灯します。
（排水モードになります）

2 排水する

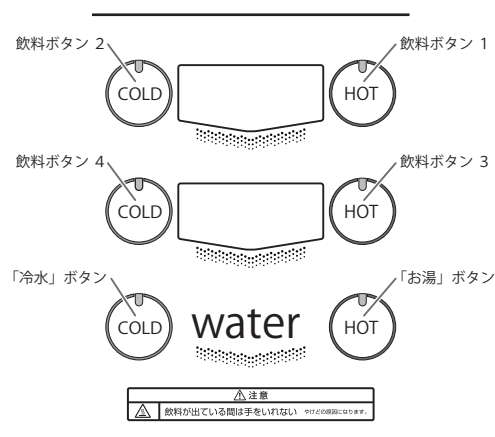
湯タンクの排水は「お湯」ボタン、冷水タンクの排水は「冷水」ボタンを押してください。

ボタンを押すと排水動作が開始され、再度同じボタンを押すと排水が停止します。

※湯タンクの排水動作中は飲料抽出口から湯が出ますので、やけどに注意してください。

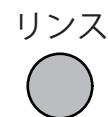
※排水タンク（PB／Tタイプ）で排水スイッチのフロートが満水を検知した場合は、排水動作が自動停止します。（「飲料ボタン1」のランプが点滅します）

排水タンク内の残水を捨ててから、「冷水」ボタンを押してください。排水が再開します。



3 通常運転モードへ切り替える

排水が終わったら、リンスボタンを連続で3回押して、排水モードを終了します。
再び各タンクに給水が開始します。



お願い

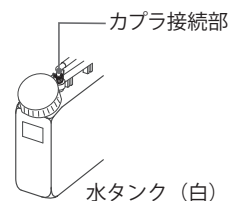
2日以上ご使用にならないときは、雑菌繁殖の恐れがあります。湯タンク、冷水タンクの水を排水してください。

Tタイプ（下部給水）水タンクの排水

湯タンクの排水をしてから、水タンクの排水をしてください。

1 カプラをはずし残水をすてる

電源を切り、水タンク上部のカプラをはずし、水タンクを取り出し残水を捨ててください。



お願い

2日以上ご使用にならないときは、雑菌繁殖の恐れがあります。水タンクの水を排水してください。

●カプラの着脱

はずすときは、ソケットのつまみを持って、上方へ持ち上げてはずします。

接続のときは、ソケットをカプラ栓の突き当たりまで差し込み、カプラ栓のリブにソケットのつまみの爪を引っ掛けて固定します。

接続するときは、ソケットの爪がカプラ栓のリブに引っかかって固定されていることを確認してください。爪がはずれていると、使用中にソケットがはずれるおそれがあります。



お願い

ソケットは、まっすぐカプラ栓に挿入してください。斜めに挿入すると密閉性が悪くなり、水を吸い上げなくなる場合があります。

原料の入れかた

指定の原料以外はご使用にならないでください。

原料の種類によって粒度や吸湿性が異なると、正常な動作ができないことがあります。

詳しくは、販売店にご相談ください。

1 原料容器と飲料ボタンを確認する

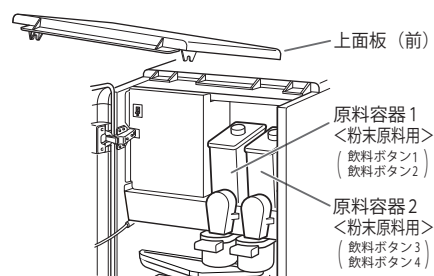
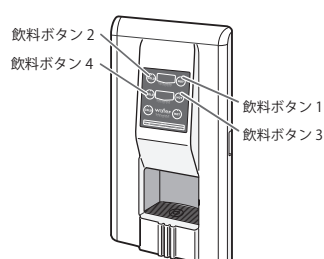
前面板の飲料ボタンと、原料容器の関係をまちがえないように、確認します。

2 原料容器に原料を入れる

上面板（前）を外して、原料容器の蓋を取り、上から原料を静かに入れます。

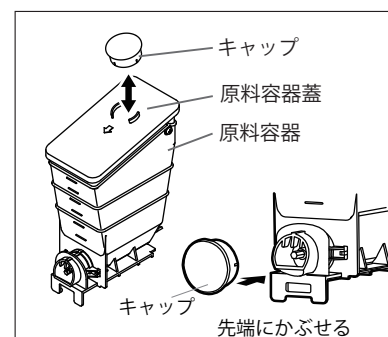
原料容器の容量は約800mlです。

原料容器をたたいたりして、原料を無理に詰め込まないでください。内部で固まり出なくなることがあります。



原料容器を着脱するときは

原料容器の先端から原料がこぼれないように、原料容器蓋についているキャップを取りはずし、原料容器の先端にかぶせ、静かに取り扱ってください。

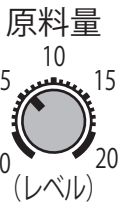


コントローラーの使いかた

原料量を設定する

原料量ボリュームで原料量の設定をします。
目盛の数字は目安で、原料種類などの使用条件により変化します。
濃さのお好みに応じて調節してください。
原料量の推奨設定レベルと実際に吐出される原料の量は以下の通りです。

原料種類	原料量推奨設定レベルと吐出量					
	約80mL		約120mL		約140mL	
	レベル	吐出量	レベル	吐出量	レベル	吐出量
煎茶 極	5	約0.5g	8	約0.8g	9	約0.9g
上煎茶	5	約0.5g	8	約0.8g	9	約0.9g
煎茶 彩	4	約0.5g	6	約0.8g	7	約0.9g
さわやか煎茶	4	約0.5g	6	約0.8g	7	約0.9g
ほうじ茶	5	約0.4g	7	約0.6g	8	約0.7g
玄米茶	4	約0.4g	6	約0.6g	7	約0.7g
麦茶	4	約0.4g	6	約0.6g	7	約0.7g
ウーロン茶	5	約0.4g	7	約0.6g	8	約0.7g
SAKAMACHI Café BLACK	10	約0.8g	14	約1.2g	17	約1.4g
Lipton ストレートティー	6	約0.5g	9	約0.8g	11	約0.9g
Lipton リフレッシュティー レモン	6	約0.5g	9	約0.8g	11	約0.9g
フレッシュウォータービタミンC+	4	約0.8g	6	約1.2g	7	約1.4g
アップルウォーター	2	約0.6g	3	約0.9g	4	約1.1g
毎日つづける乳酸菌	3	約0.8g	5	約1.2g	6	約1.4g



※工場出荷時はレベル6に設定されています。

リンスする

リンスボタンを押して湯を流し、飲料通過部分（ミキシングボール・集合ロート）を洗い流します。
※リンス中は飲料抽出口から湯が出ますので、やけどに注意してください。



工場出荷時の設定値と設定可能値

機 能		工場出荷時	設定可能値
原 料 量	飲料ボタン1	6レベル	0～20レベル (飲料ボタン1と飲料ボタン2は同量)
	飲料ボタン2		
	飲料ボタン3	6レベル	0～20レベル (飲料ボタン3と飲料ボタン4は同量)
	飲料ボタン4		
飲 料 量	飲料ボタン1	120ml	80ml・120ml・140ml
	飲料ボタン2	120ml	80ml・120ml・140ml
	飲料ボタン3	120ml	80ml・120ml・140ml
	飲料ボタン4	120ml	80ml・120ml・140ml
	お湯ボタン（注1）	連続	連続・定量（飲料ボタン1と同量）
	冷水ボタン（注1）	連続	連続・定量（飲料ボタン2と同量）
飲 料 温 度	HOT飲料ボタン／お湯ボタン（注2）	HOT（約85℃）	ぬるめ（約55℃）・ややぬるめ（約75℃）・HOT（約85℃）
	COLD飲料ボタン／冷水ボタン	COLD	設定不可（COLD）
動 作 音		する	する・しない
湯温低い検知		する	する・しない
冷水機運転		する	する・しない

- 原料量、飲料量は目安であり、実際の量とは多少異なる場合があります。
- 工場出荷時は、標準的な使いかたの値が設定されています。詳しくは各機能の設定画面を表示してご確認ください。
(注1) 工場出荷時の「お湯」、「冷水」ボタンは、ボタンを押している間だけ飲料を抽出する「連続」設定ですが、「定量」を選択しますと、ボタン1回押して設定した量が定量抽出されます。
このとき、ほかの飲料ボタンとは異なり、ボタンを押している間だけ飲料を抽出することもできます。
(注2) お湯ボタンの量を「連続」に設定したとき、飲料温度は「HOT」のみの設定となります。

各種機能設定方法

以下の機能の設定が可能です。

- ・飲料量
- ・飲料温度
- ・動作音
- ・湯温低い検知
- ・冷水機運転

次の手順で確認、設定を行ってください。

機能設定モードにする

リンスボタンを3秒間押すと機能設定モードになります。

リンスボタンを押すごとに、次の3種類の設定状態に切り替わります。

リンス



「飲料量設定」(飲料ボタン1点灯) → 「飲料温度設定」(飲料ボタン2点灯) → 「その他機能設定」(お湯ボタン点灯) → 「飲料量設定」に戻る

各機能の確認、設定が終了したらリンスボタンを3秒間押すと通常運転モードに戻ります。

1分間操作がない場合も自動で通常運転モードに戻ります。

飲料量を設定する

機能設定モードで「飲料量設定」状態にするとボタンランプで設定状態が確認できます。

- ・各飲料ボタン 消灯：約80mL 点滅：約120mL 点灯：約140mL
- ・お湯ボタン 消灯：連続 点灯：定量（飲料ボタン1と同量）
- ・冷水ボタン 消灯：連続 点灯：定量（飲料ボタン2と同量）

各ボタンを押すごとに設定が切り替わりますので、ボタンランプで設定状態を確認してください。

飲料温度を設定する

機能設定モードで「飲料温度設定」状態にするとボタンランプで設定状態が確認できます。

- ・HOT飲料ボタン／お湯ボタン 消灯：ぬるめ(約55℃) 点滅：ややぬるめ(約75℃) 点灯：HOT(約85℃)
※沸き上げ途中などで湯タンク内の温度が低い場合は、設定温度では抽出されません。
※お湯ボタンは飲料量が「連続」に設定されている場合は、「HOT(約85℃)」に固定されます。
- ・COLD飲料ボタン／冷水ボタン 消灯：設定不可

各ボタンを押すごとに設定が切り替わりますので、ボタンランプで設定状態を確認してください。

その他機能を設定する

機能設定モードで「その他機能設定」状態にするとボタンランプで設定状態が確認できます。

- ・飲料ボタン2 動作音 消灯：しない 点灯：する
- ・お湯ボタン 湯温低い検知 消灯：しない 点灯：する
- ・冷水ボタン 冷水機運転 消灯：しない 点灯：する

※冷水機運転しない場合は、冷水タンクへの給水が停止し、COLD飲料・冷水は抽出できません。

各ボタンを押すごとに設定が切り替わりますので、ボタンランプで設定状態を確認してください。

異常時の表示

故障等の異常時はボタンランプの組み合わせで異常内容をお知らせします。

異常内容	ボタンランプ				対処方法
	飲料1	飲料2	お湯	冷水	
断水		△			断水時は給水後に電源を切⇒入で復帰
排水タンク満水	△				排水タンク満水時は残水を捨て、タンクを元の位置に戻し復帰
原料量ボリューム異常			△		お買い上げの販売店にご連絡ください
ディストリビューター異常	△	△			
湯センサー異常	△		○		
冷水機異常		○		△	
加温異常	○		△		
漏水	△	△	△	△	

○：点灯／△：点滅

お手入れ

警告

部品の取り付け、取りはずしおよびお手入れするときは、電源スイッチを切る
感電やけがの原因になります。



指示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない

ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

部品を取りはずし洗浄するとき

ぬるま湯（50℃以下）をご使用ください。高温のお湯を使用すると、変形したり故障の原因になります。

汚れが落ちにくいとき

薄めた中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジなどで擦り洗い、きれいな水で洗剤を洗い流してください。

ミキシングボール・集合ロートを着脱するとき

ミキシングボール・集合ロートを着脱するときは、原料容器の蓋に取り付いているキャップを原料容器先端にかぶせ、静かに取り扱ってください。

原料容器を着脱するとき

原料を入れたままで、原料容器を着脱するときは、原料容器の蓋に取り付いているキャップを原料容器先端にかぶせ、静かに取り扱ってください。

お手入れが終わったら

部品をもとの位置に納め、電源スイッチを入れてご使用ください。

お手入れ時期の目安と手順

お手入れの時期と手順は下図の順番でおこないます。

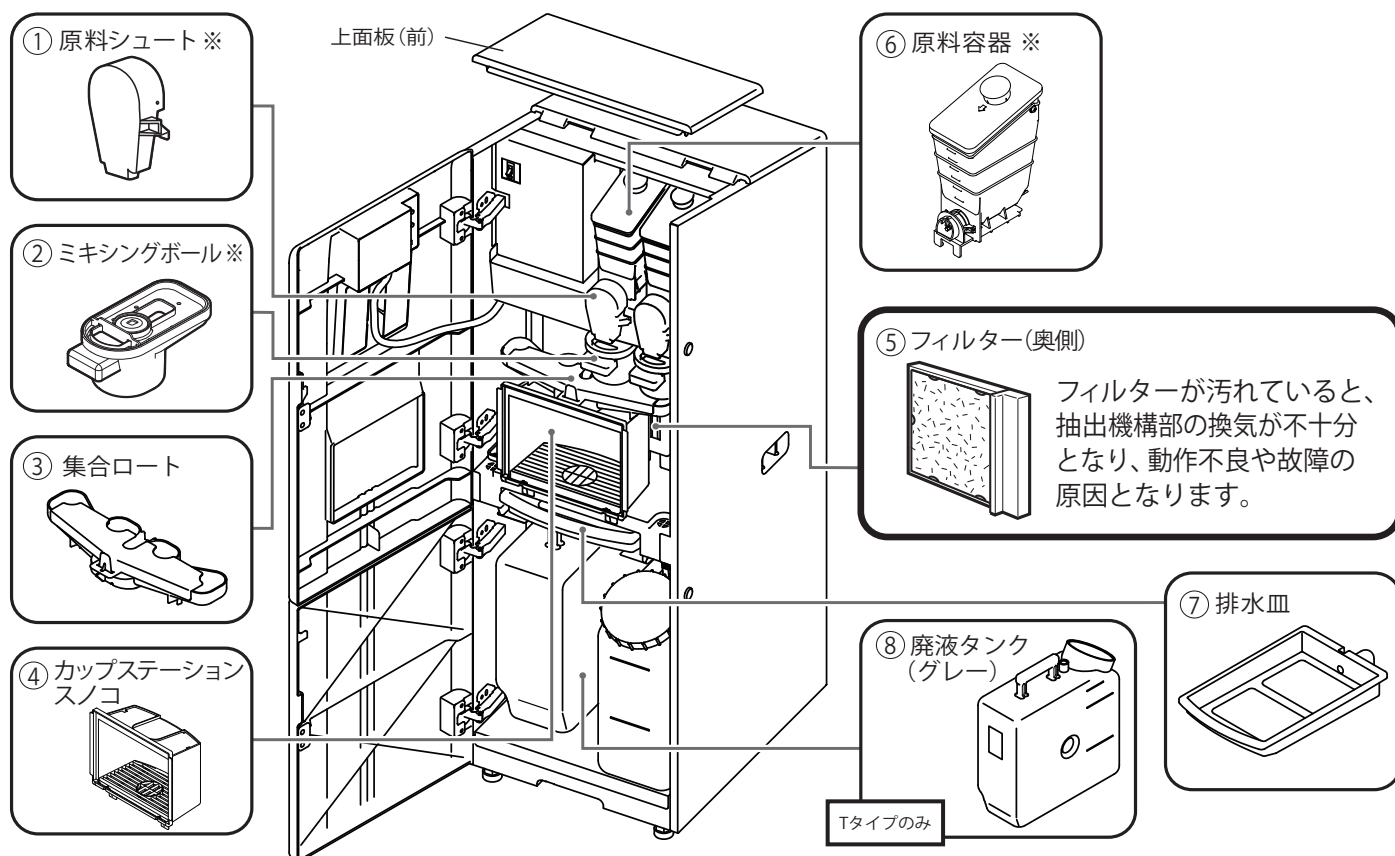
順番が違うと取りはずせない部品もあります。取り付けるときは、逆の手順でおこなってください。

お手入れ時期は、標準的な使用条件での目安です。必要に応じてお手入れをお願い致します。（28ページ「標準的な使用条件」参照）

毎日のお手入れ … リンスボタンによるリンス洗浄

週に一度のお手入れ … ①②③④⑤と冷水タンク、および湯タンクの排水

月に一度のお手入れ … ⑥⑦⑧と排水受けの排水口



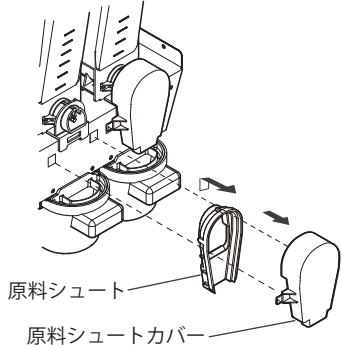
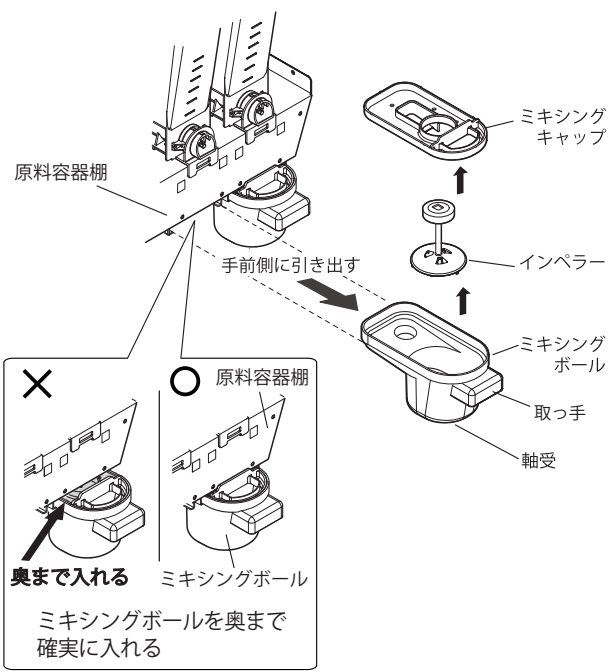
毎日のお手入れ

手順にしたがい部品を取りはずしてください。取り付けは逆の手順でおこないます。
機械内外のホコリや汚れは、きれいな布でふき取ります。

手順	部 品	お手入れのしかた
一	ミキシングボール 集 合 ロ ー ト	リンス ボタンを押して湯を流し、飲料通過部分（ミキシングボール・集合ロート）を洗い流してください。（6ページ参照） リンス 

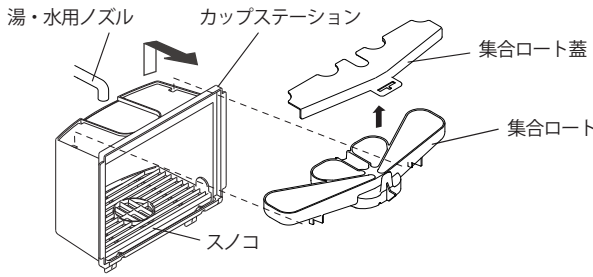
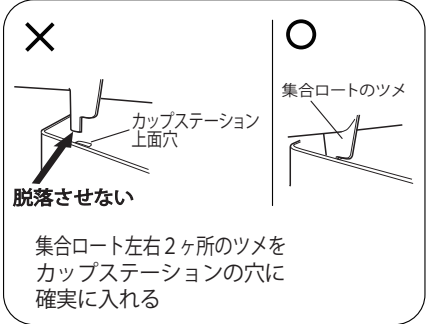
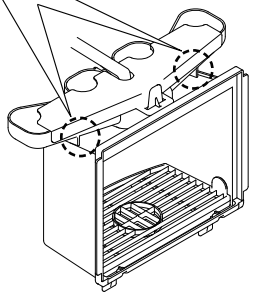
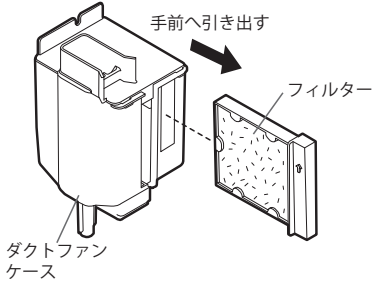
週に一度のお手入れ

手順にしたがい部品を取りはずしてください。
取り付けは逆の手順でおこないます。

手順	部 品	お手入れのしかた
①	原 料 シ ュ ー ト	上に軽く持ち上げてから、手前にはずし、原料シュートと原料シュートカバーを分解してください。 洗淨した後、水気をよく切り、十分に乾燥させてから取り付けてください。  原料シュート 原料シュートカバー
②	ミキシングボール	ミキシングボール前側の取っ手を持って手前に引いてはずし、ミキシングキャップとインペラーを取りはずします。 洗淨した後、水気をよく切り、取り付けてください。 <取り付けるとき> (1) インペラーの先端が、ミキシングボールの軸受の中に入るように組み合わせ、上からミキシングキャップをはめ込み、インペラーがスムーズに回転することを確認してから、本体に取り付けてください。 (2) ミキシングキャップが浮くことがないように、ミキシングボールに確実にはめ込んでください。 (3) ミキシングボールは、原料容器棚に奥まで確実に挿入してください。奥まで挿入されていないと、動作不良や故障の原因となります。  原料容器棚 ミキシングキャップ インペラー ミキシングボール 取っ手 軸受 手前側に引き出す ✕ 奥まで入れる ○ 原料容器棚 ミキシングボール ミキシングボールを奥まで確実に入れる

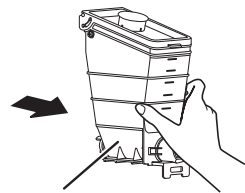
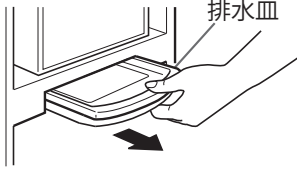
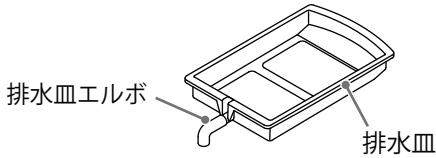
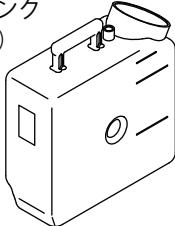
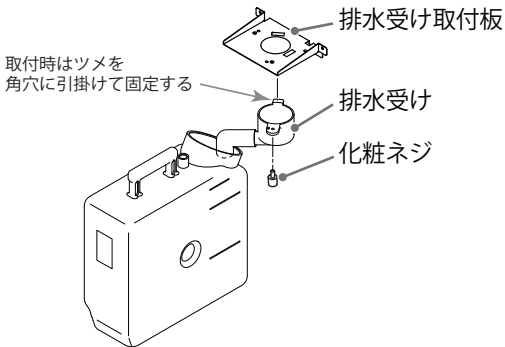
お手入れ (つづき)

週に一度のお手入れ (つづき)

手順	部 品	お手入れのしかた	
③ ④	集 合 ロ ー ト カ ッ プ ス テ ー シ ョ ン ス ノ コ	カップステーションを手前側にスライドさせます。(カップステーションが手前に倒れて落下する場合があるので注意してください) カップステーションと集合ロートを取りはずします。 洗浄した後、水気をよく切り、十分に乾燥させてから取り付けてください。 <取り付けるとき> (1) 集合ロート 蓋は浮き上がることがないように、確実に取り付けます。集合ロート 蓋が正しく取り付けられていないと、飲料抽出時に飲料が漏れるなど、動作不良や故障の原因となります。 (2) カップステーションの上に、集合ロートを取り付けます。このとき、集合ロートの左右2ヶ所のツメが、カップステーション上面の各穴に確実に入るようにします。集合ロートのツメがはずれていると、集合ロートが傾き、飲料抽出時に飲料が漏れるなど、動作不良や故障の原因となります。 (3) 集合ロートを取り付けた状態で、カップステーションを本体に取り付けます。取り付け後、カップステーションを奥まで確実に押し込んでください。	  
⑤	フ ィ ル タ ー	フィルターを手前に引き出し、付属のフィルターと交換してください。 ●汚れたフィルターはぬるま湯に浸け置き洗いした後、十分乾燥させてから保管してください。	
—	冷 水 タ ン ク 湯 タ ン ク	コントローラーを操作し、冷水タンクと湯タンクの水を新しい水と入れ替えてください。(17ページ「排水のしかた」および、16ページ「給水のしかた」参照)	

月に一度のお手入れ

①～④までの部品を取りはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。
取り付けは逆の手順でおこないます。

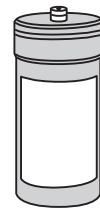
手順	部 品	お手入れのしかた	
⑥	原 料 容 器	原料容器中の原料を出して、ぬるま湯で洗浄した後、十分乾燥させてください。	 原料容器
⑦	排 水 皿	本体中央部から引き出して、ぬるま湯で洗ってください。	 排水皿  排水皿エルボ 排水皿
⑧	排 水 タ ン ク (Tタイプのみ)	タンク内の残水を捨て、ぬるま湯で洗ってください。 ※残水は定期的に捨ててください。	排水タンク (グレー) 
—	排水受けの排水口	排水受けの排水口がゴミなどで詰まることがあります。化粧ネジ（1本）を取り、排水受けをはずし点検してください。ゴミなどが詰まっているときは、清掃してください。	 排水受け取付板 排水受け 化粧ネジ 取付時はツメを 角穴に引掛けて固定する

別売部品

次のものが別売部品として用意されています。詳しくは販売店にご相談ください。

浄水器カートリッジ

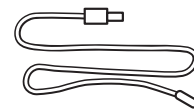
水道水に含まれる臭いを除去し、雑菌繁殖を防ぐためのものです。
水フィルターは性能を維持するため、定期的に交換が必要です。



浄水器カートリッジ

漏水センサー（コードのみ）〔P A／P Bタイプ用〕

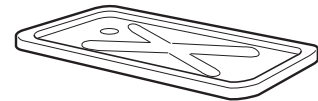
漏水センサーキット（P A／P Bタイプ標準付属）の交換部品です。
万一水漏れした場合に検知し、製品本体を休止します。



漏水センサー

ドレンパン（RKT-01P）

置台の下に敷き、床面を汚さないようにするためのものです。
P Aタイプには標準付属されています。



ドレンパン

修理サービスを依頼する前に

(つづく)

こんなときは	調べるところ	処置のしかた																																																	
ボタンランプが点灯／点滅	●異常内容（点灯／点滅パターン）を確認しましたか？	●ボタンランプの組み合わせで異常内容をお知らせします。 <table><tr><th rowspan="2">異常内容</th><th colspan="4">ボタンランプ</th></tr><tr><th>飲料1</th><th>飲料2</th><th>お湯</th><th>冷水</th></tr><tr><td>断水</td><td></td><td>△</td><td></td><td></td></tr><tr><td>廃液タンク満水</td><td>△</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>原料量ボリューム異常</td><td></td><td></td><td>△</td><td></td></tr><tr><td>ディストリビューター異常</td><td>△</td><td>△</td><td></td><td></td></tr><tr><td>湯センサー異常</td><td>△</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>冷水機異常</td><td></td><td>○</td><td></td><td>△</td></tr><tr><td>加温異常</td><td>○</td><td></td><td>△</td><td></td></tr><tr><td>漏水</td><td>△</td><td>△</td><td>△</td><td>△</td></tr></table> ○：点灯／△：点滅 断水時は給水後に電源を切⇒入で復帰	異常内容	ボタンランプ				飲料1	飲料2	お湯	冷水	断水		△			廃液タンク満水	△				原料量ボリューム異常			△		ディストリビューター異常	△	△			湯センサー異常	△		○		冷水機異常		○		△	加温異常	○		△		漏水	△	△	△	△
異常内容	ボタンランプ																																																		
	飲料1	飲料2	お湯	冷水																																															
断水		△																																																	
廃液タンク満水	△																																																		
原料量ボリューム異常			△																																																
ディストリビューター異常	△	△																																																	
湯センサー異常	△		○																																																
冷水機異常		○		△																																															
加温異常	○		△																																																
漏水	△	△	△	△																																															
飲料ボタン1が点滅（排水タンク満水）	●排水タンクが満水ではありませんか？	●排水タンクの水を捨ててください。																																																	
飲料ボタン2が点滅（断水）	●水タンクに水は充分入っていますか？（Tタイプの場合） ●冷水タンクに水が充分入っていますか？ ●断水していませんか？ または給水配管の止水栓が閉まっていますか？（PA／PBタイプの場合） ●湯タンクの水位が低くありませんか？	●水を補給してください。 ●冷水タンクに給水してください。 ●給水配管の止水栓を開いてください。 ●湯タンクへの給水を確認してください。																																																	
飲料ボタンのHOT系が消灯（湯温低い）	●連続して多量のお茶やお湯を抽出した後ではありませんか？ ●「湯が沸かない」「湯がぬるい」の項参照。	●再び湯が沸くまでお待ちください。 ●同左。																																																	
湯が沸かない	●電源プラグがはずれていませんか？ ●電源スイッチが切れていませんか？ ●水タンクに水は充分入っていますか？（Tタイプの場合） ●断水していませんか？または給水配管の止水栓が閉まっていますか？（水道直結タイプの場合）	●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 ●電源スイッチを入れてください。 ●水タンクの残水量が少なくなると本体へ給水なくなり、湯タンクの水位が下がりヒーターに通電されなくなります。タンクに水を補給してください。 ●同上の理由でヒーターに通電されなくなります。給水配管の止水栓を開いてください。																																																	
湯がぬるい	●湯温の設定が低くなっていますか？ ●湯排水コックはしっかりと閉まっていますか？ ●水タンクには水は充分入っていますか？（Tタイプの場合） ●断水していませんか？または給水配管の止水栓が閉まっていますか？（水道直結タイプの場合）	●お望みの温度に設定してください。 ●湯が流れ出て、常に新しい水が入っているためです。湯排水コックはしっかりと閉めてお使いください。 ●水を補給してください。 約30分で沸き上がります。 ●給水配管の止水栓を開いてください。																																																	
冷水の冷えがわるい	●本体後面の排気口が塞がっていませんか？ ●直射日光が当たっていませんか？ ●近くに熱器具がありませんか？ ●連続して多量の冷水を取り出した後ではありませんか？ ●冷水タンクに水が充分入っていますか？	●本体を壁などの障害物から離してください。 ●窓にブラインドなどをしてください。 ●熱器具と離してください。 ●再び冷えるまでしばらくお待ちください。 約10分で適温となります。 ●冷水タンクに給水してください。																																																	

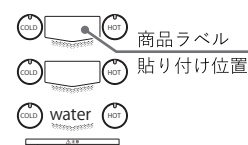
修理サービスを依頼する前に (つづき)

こんなときは	調べるところ	処置のしかた
運転音が大きい	●機体が不安定ではありませんか？	●丈夫で平坦な場所に据えつけ、機体がグラグラしないように安定させてください。
	●機体が他の製品に触れていませんか？	●他の製品から離してください。
飲料の味が薄い 飲料の味が濃い	●コントローラーの湯・水・原料の量は適切ですか？	●湯・水・原料の量をお好みの味となるように再設定してください。
	●原料の種類をかえていませんか？	●指定の専用原料をご使用ください。
	●原料は十分入っていますか？	●原料を補給してください。
	●原料容器の出口がつまっていますか？	●湿気が多いと出口がつまることがありますので、原料補給時につまりを取り除いてください。
	●原料シュートは取り付けられていますか？	●原料シュートを取り付けてください。原料シュートがないと原料が飛び散ります。

仕 様

項 目		給 茶 部	冷 水 部
製 品 寸 法		巾390mm×奥行520mm×高さ1,210mm	
製 品 質 量		39kg〔PAタイプ〕／ 40kg〔PBタイプ〕／ 41kg〔Tタイプ〕	
タ ン ク 容 量		3.2L	2.3L
湯・冷水温度		HOT (約85℃)、ぬるめ (約55℃)、ややぬるめ (約75℃)	約4℃ (参考値)
原 料 容 器		2個	
原料容器の容量		約800ml	
給 水 管 口 径		G1/2A	
電 気 定 格	電 源	単相交流100V 50/60Hz共用	
	消費電力	670W	160/165W
表 示		LEDランプ	
加 熱 装 置	電熱装置	シーズ線ヒーター (650W)	—
	温度調節	サーミスタによる電子コントロール	—
	安全装置	温度過昇防止器	—
冷 却 装 置	圧 縮 機	—	完全密閉型
	凝 縮 器	—	プレートフィン付チューブ (強制空冷)
	冷 媒	—	フロンHFC R134a (46g)
	製氷検知	—	IBC (アイスバンクコントロール)
付 属 品		簡易取扱説明書、鍵、 (注1) 商品ラベル、浄水器カートリッジ、フィルター PA/PBタイプのみ：漏水センサー、ドレンパン	

(注1) 商品ラベルは前面板操作部に飲料種類を表示するラベルです。
商品ラベルの中から抽出する飲料のラベルを選び、貼り付けてください。



保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証期間

- このティーサーバーの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年です。

修理を依頼されるときは

出張修理

26～27ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は.....
販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎている場合は.....
保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み.....

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技 術 料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代金です。
出 張 料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

■ご連絡いただきたい内容.....

品 名	ティーサーバー
形 名	HTC-6220L
お買い上げ日	年 月 日
故 障 の 状 況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印等も合わせてお知らせください
お 名 前	
電 話 番 号	
訪 問 希 望 日	
便 利 メ モ	お買い上げの販売店名を記入しておくとう便利です。 TEL.

長年ご使用のティーサーバーの点検を！

このような症状はありませんか。	●ブレーカーがたびたび切れる。 ●電源コードや電源プラグに過熱や破損がある。 ●運転音が異常に大きい。 ●電源スイッチの動作が不確実。 ●その他の異常・故障がある。	▶	ご 使 用 中	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。
-----------------	--	---	---------	---

⚠ 長期使用製品の安全に関するお願い

⚠ 長期使用製品の安全に関する表示

■設計上の標準使用期間：7年（製造年：本体内に西暦年をラベルで表示しています。）

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発煙・発火の事故に至るおそれがあります。

■設計上の標準使用期間とは

運転時間や温湿度など、下記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。

また、一般的な故障を保証するものではありません。

■経年劣化とは

長期間に渡る使用や放置にともない生じる劣化をいいます。

標準的な使用条件と異なる場合、本来の使用目的以外や改造等で使用された場合、短い期間で故障や経年劣化による発煙・発火の事故に至るおそれがあります。

■標準的な使用条件

区 分	項 目	条 件
環 境 条 件 (屋内使用)	電圧	交流100V
	周波数	50Hz／60Hz
	室温	5℃～35℃
	湿度	85%以下
負 荷 条 件	給水圧	0.1MPa～0.75MPa
	給水温度	5℃～30℃
	負荷	12時間／日 使用
使 用 条 件	1日使用杯数	100杯
	1ヶ月使用杯数	2,000杯
	1年間使用杯数	24,000杯

